

国語の授業で、先生が作文の題を告げた。「宗教」「貴族」「恋愛」「神秘」。四つのテーマを織りまぜて書きなさい。5分もしないうちに、書き上げた生徒がいた。

「おおお神様」と公爵夫人は叫んだ。「私は妊娠しました。誰の子か分かりません」

政党別の支持率を伝える世論調査の記事を読むたび、西洋の小話を思い出す。テーマの「貴族」を「政治家」に置き換えれば、以下のようになる。

「おおお神様」と、連舫代表は叫んだ。「わが党は、また今度も愛されずに終わりました。わけが分かりません」

読売6%。朝日6%。毎日6%。各紙の5月調査に表れた民進党の支持率である。「震災は東北でよかった」という非常識な発言をして大臣が辞任するなど、「敵失」に恵まれた。「森友問題」では政府を攻めに攻めた。順風に帆を張った結果がこの数字である。

# 民進党の受験生ブルース

論説委員  
竹内 政明

## 変奏曲

政権を選択する衆院選を入試の本番とすれば、折々の世論調査は模擬試験にあたる。受験勉強の仕方が間違っているとしか思えない。



かつて防衛副大臣を務めた外交・安全保障の論客、長島昭久衆院議員が民進党を離党したのはこの4月である。共産党と選挙協力を進める党執行部に絶望したという。『中央公論』6月号に手記を寄せている。

「今民進党には選挙戦術、国対戦術はあっても、「こうして政権を奪還する」という政権戦略はない」

産党と親密に語らうのだから、戦略のあろうはずもない。

もともと、外交・安保は苦手中の苦手科目である。「トラス・ト・ミー」(私を信じて)。前身の民主党が政権の座にあった頃、鳩山由紀夫首相が嘘ばかりの甘言でオバマ米大統領を弄んだ「データラメ」外交は記憶に生々

し。北朝鮮の核ミサイルを持ち出すまでもなく、いまは当時よりも火種が増している。

「森友」や「加計」で国が滅びることなくとも、「安全保障」ではそれがあつたことを国民が知っているからだろう。火事が心配なとき、火災報知機やスプリンクラーのない建物に住みたがる酔狂な人はいない。勉強ちつともしないで、こんな歌ばかり歌ってる



国会議事堂で 山岸直子撮影

ない、地に足の着いた外交・安保の青写真を示し、自民党にひと泡吹かせてみてはどうか。

旧民主党の発足(1996年9月)から数えると、民進党はいま、花なら盛り期の「20歳」である。国語の授業から稿を起したついでに、年齢にまつわる漢字の練習問題を連舫さんに進呈しよう。

【設問】 日常しばしば、年齢の「歳」に代えて、画数の少ない「才」を用いる習慣がある(例「20歳」→「20才」)。本来は年齢と無関係な「才」の字が選ばれた理由について、思うところを50字以内で述べよ。

【解答例】 「歳」の一部を構成する「戈」(意味「武器」と字の形状が似ていて、読みも同じ「さい」で好都合だから。(以上49文字)

「戈」——すなわち国の守りを抜きにして、いかなる歳月も未来に刻むことはできない。20歳といえは、そろそろ一字の重みを知っている年頃である。

から  
来年はきつと歌ってるだろう予備校のブルースを……(中川五郎作詞、高石ともや作曲「受験生ブルース」)

入試の本番では外交・安保が配点の高い科目になるのが分かっていて、勉強に身を入れないとは不思議な受験生である。

相マーガレット・サッチャー氏は答えている。「政権交代が可能な、良質の野党です」と。うかうかしていると政権を奪われかねない。その緊張感が「鉄の女」を支えたという。

失言に次ぐ失言といい、所管する法案を理解しているのか疑わしい大臣といい、政府・自民党内を覆うタルミ気分は目に余るものがある。いつまでも野党第一党に気ままな浪人生活を楽しまれては困るのである。

ここは一つ、きれいなことでは

あなたが改革を成し遂げたと  
き、いちばんの功労者は誰でしたか? 問われて、英国の元首